

授業科目名	疫学	担当教員	島本武嗣
必修	開講年次：2年後期	単位：1単位	授業形態：講義 15時間

【授業概要】

疫学的思考及び方法を理解し、人間集団の疾病及び健康現象の発生状況を把握し、それに影響を及ぼす要因や条件を包括的に探り、地域予防活動に応用するための基礎的能力を培う。

【授業目的・目標】

1. 疫学の基本的な考え方を理解する。
2. 疫学の方法について説明できる。
3. 分析疫学の基本原理について説明できる。
4. 分析疫学の調査方法について説明できる。
5. 疫学的因果関係の推定方法とその確認方法について説明できる。
6. 疫学の理解を深め地域の予防活動の応用することについて説明できる。

【履修条件】

特になし

【授業計画】

- [01] 疫学的な考え方とは
- [02] 疾病頻度、曝露の効果指標
- [03] 疫学研究の様々なデザイン
- [04] 疫学研究の質の重要性
- [05] 記述疫学
- [06] 分析疫学
- [07] スクリーニング検査と効果指標
- [08] 疫学と EBM（相関関係と因果関係）

【教科書】

講義資料は配布

【参考書】

保健統計・疫学、福富和夫・橋本修二、改訂5版、2016、南山堂

【評価方法・評価基準】

筆記試験（90%）、授業への出席状況、態度（10%）

【講義のために必要な事前・事後学習】

事後学習：講義資料および講義内容をもとに、復習を中心に毎回の授業内容の理解に務めること。

【教育目標（必須要素）との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅲ. 根拠に基づいた看護実践能力、Ⅵ. ヘルスプロモーションと予防の実践能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

期末試験の模範解答を掲示等によりフィードバックする。

【備考】

関連が深い保健統計と併せて学習し、習得した知識を適用・応用して、研究や臨床現場で問題解決できる能力を身につけることが大切である。